



—湾岸・アラビア半島地域ニュース—

イラン：P5+1 とイランとの協議

4月5日、イランの核開発計画をめぐり、P5+1 とイランとの協議がカザフスタンのアルマトウイで開始した。

2月のアルマトウイ協議で P5+1 は、国連制裁の緩和と引き換えにイラン側に濃縮ウランの抑制を含む要求を提示していた。この度のアルマトウイ協議で、イラン側の交渉責任者サード・ジャリーリ-SNSC 書記が3点を骨子とする独自の対案を提示したが、P5+1 の高官は、同提案は2012年モスクワ協議で既に退けられたイラン側の旧提案の焼き直しに過ぎないと述べた。

4月6日、P5+1 とイランとの協議が前日に続いて行われたが、合意に至らず終了した。次回以降の日程は明らかにされていない。EUのアシュトン外務・安全保障政策上級代表は、イランと長時間、集中的な議論を交わしたが、互いの距離はかけ離れたままだったと述べた。イランのジャリーリ-SNSC 書記も同様の感想を述べたが、信頼構築への歩みを進めると協議継続の意思を見せている。